

令和6年12月4日

那賀医師会
会員各位

那賀医師会
会 長 奥 雅哉
学術担当理事 藤原 啓次

令和6年度 第2回那賀医師会学術講演会のご案内

先生方におかれましては時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、下記のとおり令和6年度 第2回那賀医師会学術講演会を開催いたします。ご多忙中とは存じますが是非多数のご参加をお願い致します。

尚、お申し込みにつきましては別紙をご参照の上、12月25日(水)迄にFAX(0736-77-5334)にて那賀医師会宛にご返送くださいますようお願いいたします。

記

日 時：令和7年1月18日(土) 15:00～16:30
場 所：ホテルいとう 3階 麗華の間 岩出市宮83 (TEL: 0736-63-2222)

講演1：「ロボット支援下人工膝関節手術のメリットと可能性
：患者満足度の向上を目指して」

座 長：社会医療法人 三車会 貴志川リハビリテーション病院 病院長
西村 和彦 先生

演 者：和歌山県立医科大学 整形外科学講座 講師 福井 大輔 先生

抄 録：ロボット支援下人工膝関節置換術は、変形性膝関節症に対する最先端の治療法として広がりを見せており、高精度な骨切りやインプラント設置が可能のため、術後の膝機能回復や疼痛軽減において優れた効果が期待される。術前3D-CTを用いた詳細な計画と、手術中に個々の患者の膝の状態に応じた微細な調整を行うことで、患者個別化された手術アプローチが可能となり、長期的な関節機能の維持と患者満足度の向上が期待される。これらの点について本講演で詳しく解説する。

講演2：「速考!骨粗鬆症性椎体骨折治療戦略エッセンス」

座 長：公立那賀病院 副院長 窪田 誠治 先生

演 者：大阪公立大学大学院医学研究科 整形外科学 病院講師 玉井 孝司 先生

抄 録：2022年度総務省統計局によると、本邦において総人口に占める65歳以上の高齢者人口割合は29.1%とされている。骨粗鬆症による脆弱性骨折は介護が必要となる原因の第4位であり、特に高齢化が進む日本では早期対策が必要とされる。新型コロナの影響で高齢者の運動習慣が失われ、今後骨折の増加が予想されるが、骨粗鬆症の治療導入率は依然として低く、治療が後回しになるケースも多い。当講演ではポストコロナ時代の骨粗鬆症薬物治療の重要性や戦略を可能な限りわかりやすく概説する。

※本講演会は、会場でのご参加またはWebでのご参加のハイブリッド形式で実施致します。

※本講演会は、日本医師会生涯教育講座：1.0単位

カリキュラムコード：62(歩行障害)、77(骨粗鬆症)を申請中です。

※講演会後の情報交換会はございませんが、会場に軽食をご用意いたします。

※お手数ですが、B会員の先生方にもご案内下さいますようお願い致します。

別紙

令和6年度 第2回那賀医師会学術講演会について

(いずれかに○印(☑)をお付け下さい)

・ご出席

会場 参加

Web 参加

(Web参加のお申し込み方法)

参加希望者のメールアドレスをご記入ください。

ご連絡いただきましたメールアドレス宛に視聴用URLを送付致します。

メールアドレス：

※オンラインでのご視聴方法

(Microsoft Teamsを利用した配信を予定しております。)

- ① 「講演会へ参加」 から視聴ページへアクセスください。
- ② 入室時に「ご所属の施設名+ご氏名」を入力し、入室ください。

・ご欠席

ご施設名

ご芳名

令和6年12月25日(水)迄に那賀医師会事務局(FAX : 0736-77-5334)宛にご返送下さい。